

令和 5 年度予算案の概要 (雇用環境・均等局)

令和5年度 雇用環境・均等局 予算案の概要

(単位：千円)

区分	令和4年度 当初予算額①	令和5年度 予算案②	増減額 (②－①)	対前年比 ②／①
一 般 会 計	418,275	415,086	▲ 3,189	99.2%
義 務 的 経 費	193,225	193,174	▲ 51	100.0%
裁 量 的 経 費	225,050	221,912	▲ 3,138	98.6%
労働保険特別会計	115,778,652	112,871,669	▲ 2,906,983	97.5%
労 災 勘 定	4,638,558	4,670,803	32,245	100.7%
雇 用 勘 定	111,140,094	108,200,866	▲ 2,939,228	97.4%
総 計	116,196,927	113,286,755	▲ 2,910,172	97.5%

令和5年度 厚生労働省予算案における重点要求（ポイント）

計数は令和5年度予算案額、（ ）内は令和4年度当初予算額

成長と分配の好循環に向けた「人への投資」

「賃上げ・人材活性化・労働市場強化」雇用・労働総合政策パッケージ

新しい資本主義の実現に向け、物価上昇に負けない継続的な賃上げを強力に推進するとともに、中長期の構造的な賃上げを実現するため、人材の育成・活性化と賃金上昇を伴う労働移動の円滑化の一体的な取組を推進する観点から「人への投資」の抜本強化を図る。

○労働者の賃上げ支援 **107億円(95億円)**

うち雇用環境・均等局分 26億円（16億円）

○人材の育成・活性化 **1,138億円(929億円)**

うち雇用環境・均等局分 268億円（268億円）

○賃金上昇を伴う労働移動の円滑化 **747億円(557億円)**

うち雇用環境・均等局分 2.1億円（1.3億円）

○多様な選択を力強く支える環境整備・雇用セーフティネットの再整備
82百万円(60百万円)、R4補正7,276億円

うち雇用環境・均等局分 82百万円（60百万円）

多様な人材の活躍促進

全ての人々が意欲・能力を活かして活躍できる環境を整備するため、女性活躍推進、高齢者の就労・社会参加、就職氷河期世代の活躍支援等を図る。

○女性の活躍促進 **45億円（43億円）**

うち雇用環境・均等局分 4.7億円（3.6億円）

○高齢者の就労・社会参加の促進 **235億円（248億円）**

○障害者の就労促進 **186億円（187億円）**

○外国人に対する支援 **104億円（102億円）**

○就職氷河期世代、若年者・新規学卒者の支援 **726億円（779億円）**

多様な働き方への支援

誰もが働きやすい社会の実現に向けた働き方改革を着実に実行するため、個々の希望に応じた多様な働き方の選択とその活躍が可能な環境の整備を行う。
また、看護、介護、障害福祉の職場における処遇改善を引き続き実施する。

○多様な働き方の実現 **132億円（147億円）**

うち雇用環境・均等局 132億円（147億円）

○働き方改革の推進、ハラスメント対策 **182億円（154億円）**

うち雇用環境・均等局 61億円（70億円）

○非正規雇用労働者への支援、雇用形態に関わらない公正な待遇の確保、働く方の相談支援の充実、働く環境改善等
1,179億円（1,196億円）、R4補正26億円

うち雇用環境・均等局 835億円（843億円）

○看護、介護、障害福祉の現場で働く方々の処遇改善の引き続きの実施
855億円（356億円）

【参考】

厚生労働省における「人への投資」パッケージ関連予算は、令和5年度当初予算案では1,510億円（令和4年度当初予算額は1,019億円）である。

うち雇用環境・均等局 269億円（268億円）

令和5年度 雇用環境・均等局 予算案のポイント

「賃上げ・人材活性化・労働市場強化」雇用・労働総合政策パッケージ

- 労働者の賃上げ支援 **26億円（16億円）**
 - キャリアアップ助成金による非正規雇用労働者の処遇改善を行う企業への支援 19億円（11億円）
 - 同一労働同一賃金の徹底 7.5億円（5.6億円）
- 人材の育成・活性化 **268億円（268億円）**
 - キャリアアップ助成金による非正規雇用労働者の正社員化を行う企業への支援 268億円（268億円）（※）
- 賃金上昇を伴う労働移動の円滑化 **2.1億円（1.3億円）**
 - 働く人のワークエンゲージメントの向上に向けた支援 19百万円（新規）（※）
 - 大企業における男女間賃金格差の公表義務化を踏まえた「女性の活躍推進企業データベース」の活用促進 1.8億円（1.3億円）
- 多様な選択を力強く支える環境整備 **82百万円（60百万円）**
 - フリーランス・トラブル110番による相談支援の充実 78百万円（60百万円）

＜その他の事業＞

 - ・フリーランスに係る取引の適正化等に向けた周知広報等に関する経費 4百万円（新規）

多様な人材の活躍促進

- 女性の活躍促進 **4.7億円（3.6億円）**
 - 個々の企業に対する女性の活躍促進のためのコンサルティング等の実施 2.4億円（1.7億円）（一部※）

＜主な事業＞

 - ・民間企業における女性活躍促進事業 2.3億円（1.7億円）
 - ・個々の女性労働者のキャリア形成支援 16百万円（新規）（※）
- 大企業における男女間賃金格差の公表義務化を踏まえた「女性の活躍推進企業データベース」の活用促進 1.8億円（1.3億円）（再掲）

多様な働き方への支援

- 多様な働き方の実現 **132億円（147億円）**
 - 適正な労務管理下におけるテレワークの導入・定着促進 5.6億円（19億円）

＜主な事業＞

 - ・テレワーク・ワンストップ・サポート事業 1.2億円（1.3億円）
 - ・人材確保等支援助成金（テレワークコース） 4.2億円（18億円）
- 「多様な正社員」制度に係る導入支援等の実施 61百万円（54百万円）
- 男性が育児休業を取得しやすい環境の整備や、円滑な介護休業の取得・復帰に向けた企業の取組等に対する支援 125億円（126億円）

＜主な事業＞

 - ・男性の育児休業取得促進事業（イクメンプロジェクト） 1.3億円（1.2億円）
 - ・中小企業育児・介護休業等推進支援等事業 3.0億円（3.0億円）
 - ・両立支援等助成金（出生時両立支援コース、介護離職防止支援コース、育児休業等支援コース（新型コロナウイルス感染症対応特例含む）） 97億円（102億円）

- 労働者協同組合についてのNPO等からの円滑な移行 40百万円（67百万円）
- 働き方改革の推進、ハラスメント対策 **61億円（70億円）**
 - 働き方改革推進支援センターによる働き方改革に関する相談支援 18億円（22億円）
 - ワーク・ライフ・バランスを促進する休暇制度・就業形態の普及 5.3億円（9.0億円）

＜主な事業＞

 - ・長時間労働の抑制と年次有給休暇の取得促進に向けた自主的取組への技術的な支援 1.5億円（1.7億円）
 - ・年次有給休暇の取得促進等に向けた働き方・休み方の見直しの推進 1.5億円（1.7億円）
 - ・勤務間インターバル制度導入促進のための広報事業 68百万円（57百万円）
 - ・不妊治療を受けやすい休暇制度等環境整備事業 40百万円（40百万円）
 - ・両立支援等助成金（不妊治療両立支援コース） 1.2億円（4.7億円）

令和5年度 雇用環境・均等局 予算案のポイント

- 職場におけるハラスメント（就活ハラスメント、カスタマーハラスメントを含む）撲滅のための事例収集、周知・啓発、相談支援 37億円（39億円）

<主な事業>

- ・総合的ハラスメント防止対策事業 6.4億円（6.8億円）
- ・個別労働紛争対策事業 31億円（32億円）

○非正規雇用労働者への支援、雇用形態に関わらない公正な待遇の確保 835億円（843億円）

- キャリアアップ助成金による非正規雇用労働者の正社員化・処遇改善を行う企業への支援（一部再掲） 827億円（836億円）

<その他の事業>

- ・同一労働同一賃金の徹底 7.5億円（5.6億円）（再掲） 等

【参考】

雇用環境・均等局における「人への投資」パッケージ関連予算は、（※）が付されている事業であり、令和5年度当初予算案では269億円（令和4年度当初予算額は268億円）である。